

交野市立第一中学校区の各学校の
変遷・校章・校歌

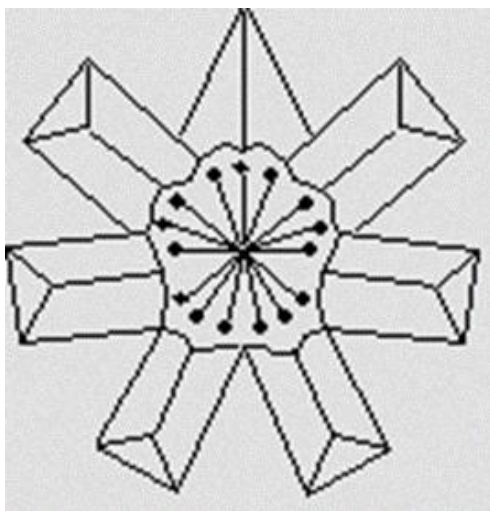
■交野小学校の変遷と校章

変遷

明治18年	交南小学校創立
昭和22年	新制度 交野町立小学校 一般的には「交野小学校」
昭和34年	現在の市役所の場所から現校地への移転完了
昭和30年	交野町（交野町と星田町が合併） 交野町立交野小学校
昭和46年	交野市立交野小学校 市の木：さくら、市の花：つつじ
昭和60年	100周年記念 100年の森植樹

校章

昭和24or25年 制定



交

ボード*に幾何学化した「交」のロゴタイプの中心に桜花

*ボード：太字、大胆に

校 歌

昭和27年 制定 交南高等小学校校歌をもとに

作詞

作曲

一、朝空高く 仰ぎ見る
交野の山の 長えに
動かぬ巖 これぞこれ
吾らの護り 頼もしや

二、谷間を出でて 広野ゆく
天の川瀬の 夜昼に
おやまぬ流れ これぞこれ
吾らの鑑 尊しや

三、千本の松の すこやかに
恵みの露に 生い立ちて
やがては国を支うべき
力とならむ もろ共に

変遷

昭和50年 交野市立郡津小学校より分離開校

【校名の由来】 白鳳時代（1,300年ほど前）に、交野を治めていた郡かと呼ばれる役所のようなものが、このあたりにあって、その郡かの隣には、長宝寺というお寺があったと言われている。

そのお寺は、今のお寺のように、お坊さんが修業するのが目的でなく、郡かで働く人、つまりその頃の交野を治める人が勉強するためのものであったと思われる。この学校が建てられたとき、この立派なお寺の名前を付けようと決められた。

校章



長宝寺小学校の「ち」、交野で7番目の小学校なので、七にも見え、そして三方へのびる矢は、上にもものびてゆく子どもたちと友だちとの横のつながりを表している

校 歌

「あの峰めざして」

作詞

作曲

1. 大きく育てと わたしたちを
きびしく見守る 交野山
ぼくもわたしも 力をあわせ
あの峰めざして 登ろうよ
希望にみちた 長宝寺小学校
2. 豊かになれよとわたしたちを
やさしく育む 天の川
君もわたしも はげましあって
みのりを求めて 進もうよ
明日にのびる 長宝寺小学校
3. 明るく学べと わたしたちを
強くはげます 遺跡群
みんな仲よく 手を取りあって
歴史の教えを 学ぼうよ
未来をひらく 長宝寺小学校

■第一中学校の変遷と校章

変遷

- 昭和22年 新制度 大阪府北河内郡学校組合立交野中学校
昭和30年 交野町（交野町と星田町が合併） 交野町立中学校
昭和36年 源氏の滝の校舎から現在の第一中学校の校地に移転
昭和46年 交野市 交野市立交野中学校 市の木：さくら、市の花：つつじ
昭和47年 交野市立第二中学校創立 交野市立第一中学校に改名

校章



作詞 安西冬衛

作曲 高畠孝弥

1. 交野の高嶺 清らなり松風
われら襟ととのえて仰ぐ師の恩
交野 交野 交野中学
この場に学ばん 尊きおしえ
われらわれら 常に清らかに

2. 若木の桜 うららなり初花
われら眉 健やかに結ぶ友垣
交野 交野 交野中学
この園に睦まん たのしきつどい
われらわれら 心うららに

3. 源氏の垂水 さやかなり水上
われら耳 あきらかに洗うたましい
交野 交野 交野中学
この窓に磨かん 明るき叡智
われらわれら とわにさやかに

作詞の安西^{ふゆえ}冬衛さん（1898年～1965年）は、現代詩に大きな影響を与えたといわれる詩人。

一行詩 春
「てふてふが一匹^{だったん}韃靼海峡を渡つていつた」が有名。